

フォーラム子どもの権利研究 2013

子どもの権利条約総合研究所は、昨年の総会において、東日本大震災と子ども支援の緊急性に直面して、「東日本大震災子ども支援ネットワーク」の設立に尽力するとともに、研究所として、日本の子ども政策に対する提言機能をもてるよう活動目標等を改定しました。

子どもの権利の視点に立ったアドボカシー（政策提言）の活動は、近年広く求められてきており、とくに震災復興問題だけでなく、昨今のいじめ問題についても、制度・システムの問題として問われる時代になりました。

今回のフォーラムでは、こうした社会的なニーズを受けて、いじめ問題に関する「緊急提言」を行うとともに、震災復興に向けた3年目の取り組みのあり方について論議を深めていきたいと考えています。

第1日目のシンポジウム1では、昨年大津での事件をきっかけにしたいじめ問題の原因究明のしくみや、子どもが安心して相談できるしくみ、学校内での相談のしくみなどを検討し、制度的な展望を示す緊急提言を行う予定です。

第2日目のシンポジウム2では、東日本大震災から3年を迎えるにあたっての課題について検討します。被災地では、緊急時の支援から復旧段階での支援をすすめるにあたって、おとなたちの暮らしの厳しさを引き受けるかのように、子どもたちの暮らしの復旧もままならない現実がある。こうした厳しい状況のなかで、これからの子どもたちの暮らしと成長において何が求められているのかについて検討する。

支援者たちは何をしてきたか、子どもたちはどこまで回復したのか、今後私たちは何をしなければならないのか、そこでの子ども支援をどのように展開するのか、本格的な復旧に向けて、子どもの元気を取り戻すための「子どもの暮らし復興への提言」をつくり上げたい。

2013年2月

NPO 法人／国連 NGO 子どもの権利条約総合研究所

-
- | | | |
|----|---|--|
| □日 | 程 | 2013年3月9日（土）～10日（日） |
| □会 | 場 | 早稲田大学文学学術院 第1会議室
(早稲田大学戸山キャンパス正門を入ってすぐの建物
後掲地図を参照) |
| □主 | 催 | 子どもの権利条約総合研究所 |
| □賛 | 同 | 子どもの人権研究会、児童福祉法研究会、東京シューレ、
子ども情報研究センター、臨床教育研究所「虹」 |
| □参 | 加 | 費（資料代込） 1000円 |
-

【連絡先・申込受付】子どもの権利条約総合研究所

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院33号館1576号室
TEL/FAX 03-3203-4355 E-mail npo_crc@nifty.com

第1日 3月9日(土) 午後1時～6時

シンポジウム1:「いじめ解決」への子どもの権利:緊急提言

シンポジスト(50音順)

- 高橋直紹(弁護士 豊田市子どもの権利擁護委員、可児市いじめ専門委員)
半田勝久(東京成徳大学 子どもの権利条約総合研究所事務局次長)
福田みのり(山口福祉文化大学 川西市子どもの人権オンブズ・元調査相談専門員)
堀井雅道(東洋大学・非常勤 学校評議員)
山下英三郎(日本社会事業大学名誉教授、スクールソーシャルワーク)

コーディネーター 野村武司(獨協大学)

【報告】

- ・報告1 再発防止につなぐ原因究明システム
—「調査委員会」のあり方 堀井雅道
- ・報告2 子どもが安心して相談できるしくみ
—解決主体としての子どもの立ち直り支援 福田みのり
- ・報告3 いじめ・権利侵害における相談・救済制度
—子どもの権利条例といじめ防止条例に基づく取り組みの比較検討
高橋直紹
- ・提案 校内における「いじめ」解決のしくみ 山下英三郎

【緊急提言】「いじめ問題の解決に向けて」

子どもの権利条約総合研究所検討チーム 半田勝久

【質疑・討論】

懇親会 18時15分～20時

- 場所 早稲田大学・大隈ガーデンカフェ(大隈講堂裏手)
- 会費 3000円

研究と実践をつなぐ総合的理論誌

子どもの権利研究

子どもの権利条約総合研究所編 日本評論社発行

子どもの権利条約を効果的に実施するため、国連・ユニセフ、アジア諸国、日本の国や自治体等の動向をふまえつつ、各地の自治体、弁護士会、学校現場、福祉施設、市民団体などでの動きをつなぎ、発展させていくための総合的な理論誌です。

創刊号～第22号(各2000円)

第2日 3月10日(日) 午前10時～午後4時

シンポジウム2：東日本大震災から3年 子どもの暮らし復興への提言 —子どもにやさしいまちづくりに向けて—

コーディネーター：荒牧重人（山梨学院大学） 森田明美（東洋大学）

基調報告：子どもの暮らしは復興に向かっているのか

—子ども支援のこれまでとこれから

森田明美（東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長）

特別発言1 災害時の学校で大切にしたことと復興への取り組み

砂金良昭（岩手県教組書記長）

特別発言2 放課後の子どもたちを支援する取り組み

青木理絵（南相馬市上真野臨時児童クラブ指導員）

特別発言3 市民・NPOによる災害子ども支援のいま

小林純子（災害子ども支援ネットワークみやぎ）

質疑応答と議論

<昼食>

報告2 隠されたトラウマから子どもたちをどのように解放するか

足立智昭（宮城学院女子大学）

報告3 子どもの遊びを保障する環境整備をどのように具体化するか

木下 勇（千葉大学）

報告4 復興における子どもの保護を中心としたユニセフの取り組み

小野道子（日本ユニセフ協会子どもの保護アドバイザー）

討議と提言

『子どもにやさしいまちづくり—自治体子ども施策の現在とこれから』

喜多明人・荒牧重人・森田明美・内田塔子編（日本評論社 2835円）

『子どもとともに創る学校 子どもの権利条約の風を北海道・十勝から』

澤田治夫・和田真也・喜多明人・荒牧重人編（日本評論社 2100円）

『子ども支援の相談・救済 子どもが安心して相談できる仕組みと活動』

荒牧重人・吉永省三・吉田恒雄・半田勝久編（日本評論社 2415円）

『逐条解説 子どもの権利条約』

喜多明人・森田明美・広沢 明・荒牧重人編（日本評論社 2520円）

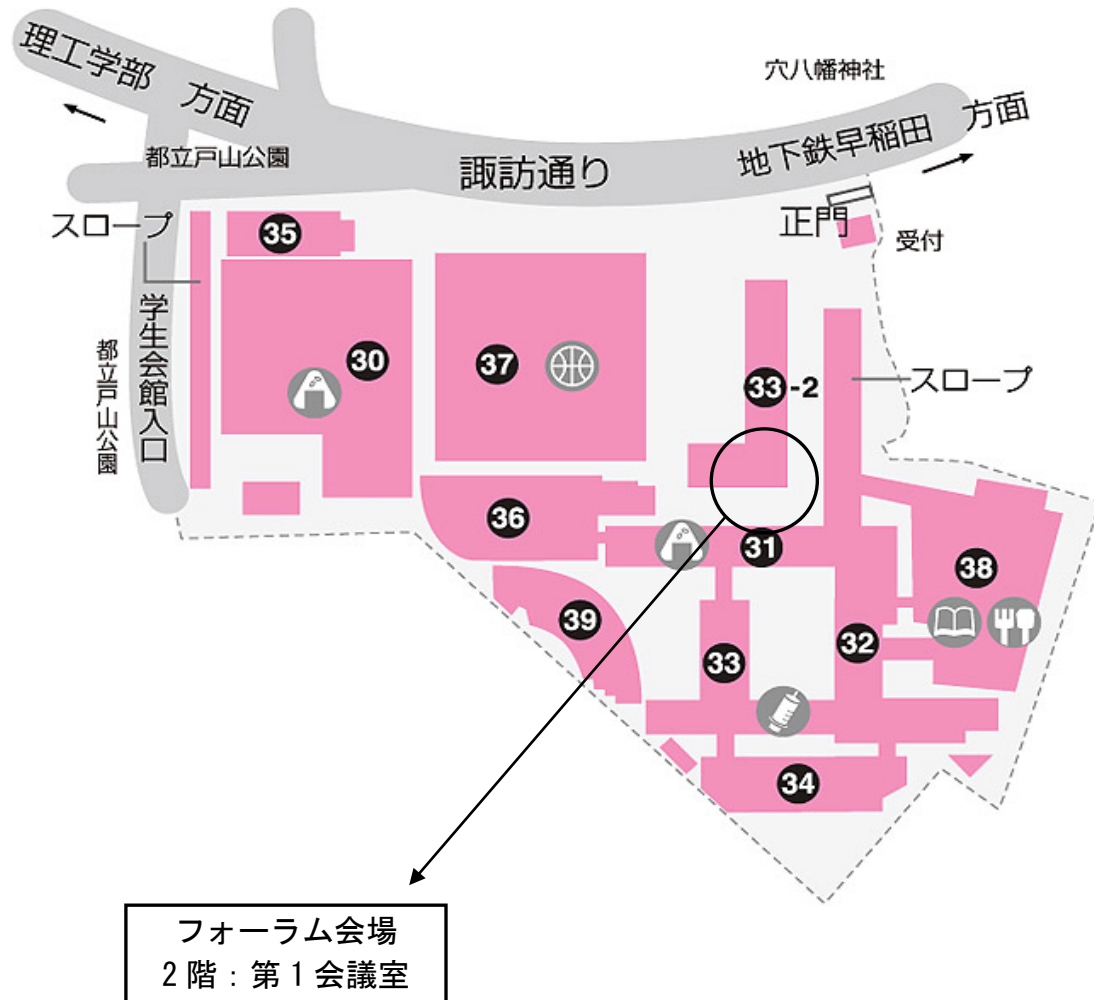
『子どもの権利 日韓共同研究』

喜多明人・森田明美・荒牧重人ほか編（日本評論社 4725円）

『解説 子ども条例』

荒牧重人・喜多明人・半田勝久編（三省堂 2100円）

【会場案内図＊早稲田大学戸山キャンパス】



- 地下鉄東西線「早稲田」駅 2番出口より徒歩5分
- JR山手線「高田馬場」駅
駅前バス乗り場からバスで10分「馬場下町」下車徒歩5分